

通常国会を振り返って

156日間に及ぶ第169回通常国会が閉会しました

今国会では、ガソリン税の法案をめぐって、与野党が激しく対立、与党は衆議院で再可決をして成立させました。

財政難に苦しむ地方自治体を支援するためには必要なことでした。ガソリン価格の高騰が続いており、政府与党にとっても苦渋の決断でした。

日銀総裁副総裁の国会同意では、2回も総裁人事が否決され、副総裁と審議委員は今も欠員が出ています。

民主党の（総裁人事に対する）反対には、納得できる理由がありませんでした。現在も慶応大学の池尾和人教授を日銀審議委員に任命する同
(裏に続きます)

意手続きが進められ、衆議院では同意されましたが、参議院では、民主党が賛成反対に関係なく、政党同士の都合だけで参議院での採決を行わ



ないというおよそ考えられない行動が取られています。賛成反対はおろか採決すら行わないというのは、無責任の極みと言わざるを得ません。

今国会では野党による暴力的な振る舞いも見られました。

私も国会の一室に軟禁されたこともありました。あの時はまさか窓から脱出することになるとは思いませんでした。それ以上に河野洋平衆議院議長の議場への入場を力づくで阻止しようとしたことの方が問題です。例え意見が激しく対立していても国会はあくまで議論をする場所です。あのような暴力行為は到底許されるものではありません。私は議会運営のルールを決める責任者をしています。与野党の責任者で話し合いを重ねた結果、先日国会の秩序を保つための申し合わせが決まりました。

野党は長寿(後期高齢者)医療制度の廃止法案を提出しました。

野党の行動は、聞こえの良いことばかりを言って、対案はありません、具体策は考えていません、将来のことはわかりませんという極めて無責任なパフォーマンスです。少子高齢化が進み、医療費はさらに増大するという中で、私たち与党は責任政党として、今後もすべての国民が公的医療保険に加入し、安心して医療サービスを受けることができるように、今回新しい高齢者向け医療保険制度を導入しました。

衆参両議院の多数派が異なる、いわゆる「ねじれ国会」という状況で、とても難しい国会運営だったと思いますが、今国会を通してのご感想は。

確かにとても厳しい毎日でしたが、国家公務員制度改革基本法や宇宙基本法のように与野党の話し合いによって成立した法案もありました。また政府が提出した法案の約 8 割を成立させることができました。今後はもっと盛んに与野党協議や国会審議を尽くして、より多くの重要な法案が成立するように努力して参りたいと思います。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町 1 - 7 - 1

TEL: 0 4 5 (3 2 3) 6 0 0 0

FAX: 0 4 5 (3 2 3) 2 9 7 4